

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	はちみつ會
支援対象者・エリア	福島県内の小学生以下の子どもとその保護者
企画開催地	町田市大地沢青少年センター
企画名称	福島の親子・町田の森ツアー
実施期間	2018年5月3日～6日

支援活動の目的・内容・感想

(どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など)

福島の保護者が子どもへの放射能の影響を気にして外遊びを制限している、食べ物も気にして県外のものを取るようになっている等の話を聞いて、福島で暮らす子ども達に外遊びの場を提供したい、保護者には放射能を気にして過ごすストレスをいくらかでも軽減できる手助けが出来ればと思って、2013年5月から始めました。1年に2回祝日を利用して開催しています。回を重ねる中で、2016年から障がいを持つ子ども達にも保養に参加してもらいたいと養護学校教諭のサポートを受けながら、毎回5家族程の障がいを持つ子どもの家族にも参加してもらっています。子どもは自由遊び、大人には整体などのリラクゼーション、ヨガ、手芸を用意し、布芝居やビン笛ワークショップ、医師による健康のお話会等外部講師にもボランティアをお願いしてプログラムを充実させています。リピーターも多い参加者と交流する中で、福島参加者にも「福島で暮らす事」をボランティアの皆さんに語って頂きたい、私たちも現実に福島で起きている事を知りたい、知らなければと強く感じるようになり、毎回任意で参加者から「福島のお話」をして頂いています。福島で起きている事は単純ではなく、様々な考え、想いがありますが、そうした複雑なものを複雑なまま考える、ずっと当事者として考えていきたいと思っています。そのために年に数回、福島に行き、市民活動や大学の先生、作業所の職員、復興支援員等入り、いろいろな方から現地でお話を聞き、実際に空間測定も定期的に行っています。町田でもはちみつ會主催の福島の子どもの写真展や、原発を描いた映画上映会などを行っています。ゆっくり、そして広く「福島で起きた事、起きている事」を考え、伝えていきたいと思っています

活動の様子（写真など）

